

エ 世界の言語Ⅱ

(ア) 全体計画

2年次より始まる世界の言語Ⅱでは、それぞれの生徒が選択した言語を1年間継続して学び、基礎的な「読む」「聞く」「書く」「話す」4技能のコミュニケーション能力を身につけるとともに、言語を介して他者と意見交換を交わし、積極的に関わろうとする寛容さや挑戦力を身につけることを目標としている。言語により、細かい達成度は異なるが、共通する点としてCEFRのA1相当を目標とした。各言語共通の4技能の具体的な目標は以下のとおりである。

- ・話すこと：短く、定型的な表現を使い、自分自身の身近なことについて表現する。
- ・聞くこと：身近で日常的な内容や短く簡単な質問や発言を理解する。
- ・書くこと：身近で日常的な事柄について、簡単な語句や文を書くことができる。
- ・読むこと：よく知っている単語や基本表現を用いたテキストを理解できる。

また、学習内容や評価の方法は言語により異なるが、以下にスペイン語の概要を記す。

協働力					寛容さ・挑戦力
	話すこと	聞くこと	書くこと	読むこと	
【学習内容の概要】 ・初級文法、よく使われるフレーズを使い、読み、書き、話す、聞く力の育成 【評価の方法】 ・ワークシートの取り組み状況 ・授業内テスト ・小テスト	【学習内容の概要】 ・日常会話 ・プレゼンテーション 【評価の方法】 ・授業中の会話練習(観察) ・インタビューテスト ・プレゼンテーション	【学習内容の概要】 ・教室スペイン語 ・身近な話題の聞き方 【評価の方法】 ・授業内テスト ・インタビューテスト	【学習内容の概要】 ・自分自身や身近なものを紹介する文 【評価の方法】 ・授業内テスト ・ワークシートの取り組み状況	【学習内容の概要】 ・教科書で扱っている、日常的なテーマの会話文の読み取り 【評価の方法】 ・授業内テスト 【評価の方法】 ・授業中の取り組み(観察) ・ワークシートへの取り組み状況	【学習内容の概要】 ・クラスメートと日常的なテーマで意見交換をし、多様な意見があることを理解する。 ・スペイン語圏の文化、言語(方言)、価値観を学ぶ 【評価の方法】 ・授業中の取り組み(観察) ・ワークシートへの取り組み状況

(イ) 多言語学び合い交流会

2年生の世界の言語IIでは、それぞれの言語に分かれて1年弱、言語や言語圏の文化、文法、音声など、より詳しく実践的に学んだ。前述のとおり、複数の言語を学ぶことはそれを使用する多様な他者への気づきと寛容な態度の形成、複数言語の比較によるメタ言語能力（自他の言語の相対性、類似性、相違性、などを意識化、言語化する能力）の向上、個人の複言語能力の言語レパトリーの拡大といった成果が期待される。

1年間の各言語の学習を振り返り、他の言語を選択している生徒に学びを共有することで、より深い外国語学習の習熟を目指すために、「多言語学び合い交流会」を3学期に実施した。

元々は、各言語の選択者が所属するHRごとにグループに分かれて10分程度のミニワークショップを行う予定であったが、新型コロナウイルスの感染者急増を背景に、生徒1人ひとりの個人ワークとし、1人2分程度のミニプレゼンテーションの実施に変更した。今まで学習してきたことを振り返り、自分が選択した言語の文法、発音、表現、文化、日本語や英語との類似点や相違点など興味深い点や他の言語選択者に伝えたい魅力を考えさせた。また、1人2分間の短いプレゼンテーションではあるが、ただ単に説明で終わることなく、必要に応じてスライドなど視覚的に分かりやすいものを使用し、他の人が考えたり、参加者同士でやりとりができる内容にするよう促した。

3年生では選択制になるため、すべての生徒が履修するわけではないが、2年間の中で、「世界の言語」は単に言語能力の向上させるだけでなく、異文化理解や寛容さ・挑戦力など国際高校を目指す、生徒に身につけてほしい能力の向上に貢献できたと考える。



オ 生物の授業における取組

概要： 2年生で理型「生物」を選択した生徒22名に対し、事前に授業動画を視聴し、授業中は協働学習をおこない学びを深める、いわゆる「反転学習」を1年間実施した。また、オンライン会議システムを用いて、国内外の研究者の講義を聞くことで教科の内容を深く理解するとともに、研究者としてのキャリア形成についての理解を深めた。また、奈良先端科学技術大学院大学の留学生による英語を用いた講義を受けることで、英語教育と理科教育の融合を図った。実際におこなった授業について、以下に示す。

実施日	講師	内容
5月6日	麻布大学獣医学部 内山淳平 先生 オンライン講義	<ul style="list-style-type: none"> ● 麻布大学獣医学部の教育内容について ● ペットの病気治療に対するフェージ利用について ● 研究者としてのこれまでのキャリア形成について
6月21日	Miz Inc. 市川祐介 先生 アメリカ カリフォルニア州よりオンライン講義	<ul style="list-style-type: none"> ● Miz Inc. で取り組んでいる水素医学についてのアメリカでの生活について ● 研究者としてのこれまでのキャリア形成について
9月2日	薬用植物資源研究センター 林茂樹先生 オンライン講義	<ul style="list-style-type: none"> ● 植物の代謝について ● 薬用植物の利用について ● 研究者としてのこれまでのキャリア形成について
10月18日	高知大学農林海洋科学部 長崎慶三 先生 オンライン講義	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナウイルスの感染経路について ● 新しいワクチン製造技術について ● 研究者としてのこれまでのキャリア形成について
11月15日	奈良先端科学技術大学院大学博士課程 Yasmin Fauzee 氏 英語による対面授業	<ul style="list-style-type: none"> ● 出身国であるマレーシアについて ● 細胞ストレスについて ● 研究者としてのこれまでのキャリア形成について
2月10日	株式会社リアルニューージーランド 藤井巖 氏 ニューージーランドよりオンライン講義	<ul style="list-style-type: none"> ● ニューージーランドの分化と教育について ● これからの日本と世界について

生徒の感想： 上記講演会のうち、実際に対面授業を行った奈良先端科学技術大学院大学博士課程Yasmin Fauzeeによる英語による講義についての生徒の感想を以下に抜粋する。

- UPRで神経変性疾患の治療法が見つかるかもしれないということがすごく嬉しかったです。マレーシアのことについても教えていただきありがとうございました。いろいろな民族の方が演奏している音楽がとても興味深かったです。講演会をしていただきありがとうございました。Terima kasih
- プレゼンに飽きないようにクイズを挟んだりしていたので、是非真似したいと思います。とても面白いプレゼンでした。僕らもグローバル探求でプレゼンがあるので、面白いものにしたいです。ありがとうございました。

- ストレスに関わる細胞の話も私は英語があまり得意ではありませんがとても理解できました。今まで受けてきたどの生物の授業のプレゼンの中で一番楽しかったですし、面白かったです(興味深いも含む)。マレーシアの特色についても知ることが出来て私も行ってみたいと思いました。貴重なお話を聞かせていただいて有り難うございました。